

令和 5 年 3 月 8 日

入試区分による成績分布分析（令和 4 年度卒業生）

IR 室

標題の件、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 分析の目的と実施内容

- (1) 本学では学生の成績評価「優」を 3、同「良」を 2、同「可」を 1、「不可ないし評価不能」を 0 として Grade Point に換算している。その Grade Point 合計数を総履修登録単位数で除した数値（平均値）を GPA としている。
GPA には学期ごと、年度ごと、累積（在学全期間）の 3 種類があるが、個々の学生のトータルな成績評価には累積 GPA が最も適している。
従って、累積 GPA が 3.0 に近いほど成績優秀と判断される。
- (2) 令和 5 年 3 月卒業予定の学生の成績（累積 GPA）を入試カテゴリーごとに分けて集計し、どの入試カテゴリーから入学した学生が成績が良いか把握し、今後の入試施策やアドミッションポリシーの見直しにつなげるため、分析を行った。
- (3) 卒業生の大半は令和 3 年入学であり、分析にあたっては修業年限（2 年）で卒業した学生 130 名（令和 3 年度入学）を母集団として分析した。（卒業生総数は 135 名）

2. 分析結果

- (1) GPA 最高値では、指定校推薦の学生 2 名が 2.93 という素晴らしい成績であった。
続いて GPA2.90 以上の成績優秀学生は総合型選抜入試 1 回目 1 名、指定校推薦 1 名であった。
- (2) 全学の成績では平均値 2.46（前年度 2.50）.
入試区分別の平均値。
 - ①総合型選抜入試 1 回目 2.44。
うちポテンシャル型 2.51 が最も高く、以下コミュニケーション型 2.40、オンライン型 2.39 であった。
 - ②指定校推薦型選抜 2.52
昨年度（2.65）より低下したが、入試カテゴリーの中で最も高く、優秀な学生を確保するためには有力な選抜手段と言える。
 - ③その他
総合型選抜入試では、2 回目 2.26、同 3 回目 2.33、同 4 回目 2.14（1 名）、同 5 回目 2.38 といずれも低水準。

その他（推薦、一般選抜、共通テスト、社会人）は母数が少なく、分析に馴染まない。また成績もバラツキがある（最高値 2.89～最低値 2.02）。

3. 意見

成績上位者 20 名（累計 GPA2.73～2.93）のうち指定校推薦が 10 名、総合型選抜入試 1 回目が 8 名を占めており、双方の入試で優秀な学生の確保が可能と考えられる。

また、入試カテゴリーごとの累計 GPA 平均値からも同様のことが読み取れる。

以上のことから、今後の学生募集にあたっては、昨年度分析結果と同様、指定校推薦入試と総合型選抜入試の早期の段階（1 回目）での選抜を中心に進め、成績優秀な学生を確保していくこととしたい。

以上